

一般社団法人 岩の力学連合会
2020年度 第2回理事会 議事録

日時	起案 2020年10月8日	場所	乃木坂ビル 4F (資源・素材学会会議室) Web 会議形式で開催
----	---------------	----	--------------------------------------

理事会	理事	伊藤高敏	○	理事	西山竜朗	○	理事	芥川真一	○
	理事	坂口清敏	○	理事	藤井幸泰	○	理事	西山 哲	○
	理事	佐藤 晃	○	理事	土屋光弘	○	理事	岡田哲実	○
	理事	林 為人	○	理事	森岡宏之	○	理事	横尾 敦	○
	理事	下田直之	×	理事	砂金伸治	○	理事	上田日出男	×
	理事	木崎彰久	○	理事	安原英明	○			
	監事	細野高康	×	監事	早川博之	×	ISR M 役員	オメルアイ ダ ン	○
賛助会員会 議 ^{注1)}	奥野哲夫	○	ILC 委員 会 ^{注2)}	京谷孝史	○				

注1) 正式名称：賛助会員会議運営委員会

注2) 正式名称：ILC 研究企画特別委員会

敬称略順不同，○：出席，S：スカイプ参加，×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料	頁
資料 2020 理事 02-01	2020年度定時社員総会議事録	1
資料 2020 理事 02-02	会員の入退会状況	4
資料 2020 理事 02-03	編集委員会活動計画	7
資料 2020 理事 02-04	2020年度第1回国際技術委員会議事録及び理事会審議資料	10
資料 2020 理事 02-05	RockNet 委員会の活動計画および活動状況	15
資料 2020 理事 02-06	代議員選挙に向けてのスケジュール	16
資料 2020 理事 02-07	2020年10月8日理事会資料_賛助会員会議運営委員会_活動 状況報告	17
資料 2020 理事 02-08	第15回岩の力学国内シンポジウム	23
資料 2020 理事 02-09	RMEGV 2020年度第1回会議議事録	28
資料 2020 理事 02-10	JSRM2021 火山 WS 覚書	33
資料 2020 理事 02-11	岩の力学連合会終身会員制度導入について	35
資料 2020 理事 02-12	2020 岩盤工学基礎講座実施について	37
資料 2020 理事 02-13	追加_第15回岩の力学国内シンポジウムの準備の状況	
資料 2020 理事 02-14	追加_ILC 世界の動き	
資料 2020 理事 02-15	追加_電子ジャーナル委員会報告	
資料 2020 理事 02-16		

【審議および報告事項】

0. 理事長挨拶

理事会に先立ち、伊藤理事長より開会の挨拶があった。今回は新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、理事会としては初の完全 Web 会議方式で実施することになった経緯についても説明があった。

1. 第 15 回岩の力学国内シンポジウム準備状況報告（小山：資料 2020 理事 02-08, 資料 2020 理事 02-13（追加資料））

本シンポジウム開催にむけて実行委員会幹事長の小山先生（関西大学）より、2021 年 1 月の開催に向けての準備状況について資料に基づき報告があった。主な内容としては、現在は対面形式での実施を予定しているが、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況をふまえ、Web 開催やその併用を含めた開催形式については 10 月末に最終判断を下す予定である事が報告された。また、現在のところ本シンポジウムでの講演数は基調講演 2 件、一般講演は 114 件である事が報告された。また、安原理事より本シンポジウムに併せて開催予定の第 5 回岩の力学に関する若手研究者会議についても、現在のところ対面形式で開催予定である事が報告された。

2. 2020 年度定時社員総会議事録（資料 2020 理事 02-01）

去る 5 月 29 日に開催された社員総会の議事録の確認を行い承認された。

3. 会員の入退会確認（資料 2020 理事 02-02）

資料に基づき、2020 年 9 月 15 日までの会員の入退会状況について確認し、退会の慰留が可能な方や、会費の納付が可能な方の確認を行った。外国人留学生在が日本滞在中に本連合会の会員となり、その後帰国して会費を 2 年以上納めていない方々については退会扱いとすることとした。また、確認が取れた数名の方々に会費の納付をお願いすることができた。

4. 2020 年度活動方針・計画および報告事項

1) 編集委員会（西山（竜）：資料 2020 理事 02-03）

資料の通り活動方針および活動計画が報告され、「岩の力学ニュース」の発行スケジュールの具体的日程が示された。また、本年度に入り 2 名の委員交代があったことが報告された。

2) 国際技術委員（安原：資料 2020 理事 02-04）

資料の通り活動方針および活動計画が報告された。また、若手技術者海外活動助成金の応募書類の審査結果の取り扱いについて審議を行った。本年度は若手技術者海外活動助成金の助成対象として 2 名が推薦され、本理事会で了承された。しかし、本年度は全世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大していることからほとんどの国際会議が中止あるいは無期限延期となっている。この状況を踏まえ、本年度中に会議が開催される場合についてのみ実際に助成を行うことが確認された。また、年度をまたいで開催の場合には再度申請をしてもらうこととした。

3) 電子ジャーナル委員会（西山（哲）：資料 2020 理事 02-15）

資料の通り活動方針および活動計画が報告された。

4) Rock Net 委員会（藤井：資料 2020 理事 02-05）

資料の通り活動方針および活動計画が報告された。「岩の力学ニュース」については著作権の移譲が済んでいる版については既にアーカイブが行われているが、過去に開催された「岩の力学国内シンポジウム」の論文についても RockNet Japan 上での公開を検討していることが報告された。ただし、著作権の移譲はされているものの公開については著者の承諾を得られていないことから、

Web 上での公開は慎重に行うことが確認された。また、2021 年 1 月に開催される「岩の力学国内シンポジウム」の論文については、今回は同じ理由で Web での公開は見合わせる事となった。

4) 連合会賞選考委員会（坂口：）

口頭にて次の連合会賞の手続きが進められている旨が報告された。

5) 選挙管理委員会（下田：資料 2020 理事 02-06）

資料の通り、今後の代議員選挙のスケジュールが示され活動予定である事が、代理の佐藤幹事長から報告された。

6) 賛助会員会議運営委員会（奥野：資料 2020 理事 02-07）

資料の通り賛助会員会議運営委員会の活動状況が報告された。賛助会員会議運営委員会の開催についても、本年度は 11 月 27 日に Web 会議形式で開催予定である事が報告された。また、岩盤工学基礎講座については引き続き実施継続の要望があった。本件の具体的内容については、議題 9 で議論した。

7) ILC 委員会（京谷：当日追加資料（資料 2020 理事 02-14 追加））

別紙追加資料に基づき、世界の ICL 計画の動向について報告された。具体的には、日・米・欧を中心とする国際プロジェクトとして ILC を実現するためのステップとタイムスケールが明確になってきたことが報告された。

5. JSRM/JSEG 共催国際火山 WS 準備状況報告（佐藤：資料 2020 理事 02-09）

資料に基づき本ワークショップの準備状況が報告された。本ワークショップには ISRM Board member から 4 名が International Advisory Committee として参加することが報告された。また、Abstract 募集など今後のスケジュールについても報告された。さらに、西山編集委員会委員長の提案により、本ワークショップの開催案内を次号の「岩の力学ニュース」に掲載することとなった。

6. JSRM/JSEG 共催国際火山 WS 事務委託業務に関する覚書きの確認（佐藤：資料 2020 理事 02-10）

資料に基づき、本連合会と事務委託をしている資源・素材学会との間で、JSRM/JSEG 共催国際火山 WS 事務委託業務に関する覚書きが交わされたことが報告され、また、その内容が確認された。

7. 岩の力学連合会「終身会員制度」導入について（佐藤：資料 2020 理事 02-11）

資料に基づき、本連合会でも「終身会員制度」の導入の可能性について審議した。まず、他学会の終身会員制度の概要について報告され、本連合会で導入するに当たっての諸条件について審議した。その結果、概ね会員歴 30 年以上で 65 歳以上の会員を対象とする案を軸に、理事会の場において今後詳細を議論していくこととなった。また、横尾理事より、終身会員は会費の支払いとも連動することから、これまで議論されてきた一般会員の値上げとセットで議論した上で総会に提案すべきとの意見が出され、その旨が了承された。また、林理事より終身会員制度導入に伴うコスト計算も行うべきとの意見が出された。前記の会費の件と併せて、次の総会までに開催予定の理事会で議論していくこととした。

また、この審議に併せて本連合会の「名誉会員」の取り扱いについて確認がなされた。その結果、2014 年度以降、名誉会員について理事会で取り上げられていなかったことから、次の総会までに対象者をリストアップすることとした。

8. 岩盤工学基礎講座の開催について（佐藤：資料 2020 理事 02-12）

資料に基づき昨年の実施状況を報告し、本年度の実施に向けて審議を行った。まず、実施形態としては対面方式と Web による Live 配信のハイブリッド形式を基本にすることとした。対面式を行う場合には、十分なソーシャルディスタンスを取る必要があるため、これまで利用してきた資源・素材学会会議室の他に、地盤工学会会議室などの利用も状況に応じて検討することとした。また、

賛助会員はこれまで通りの参加形態で、それ以外の一般会員にも参加費の徴収などで若干差別化を図ることで参加を促すこととなった。講師およびテーマは2019年度と同様とすることとなった。

9. 次期理事会メンバーの選出について

理事長名で、関係学会の担当委員会にできるだけ早い時期に書面にて理事候補メンバーを選出して頂くように依頼することとなった。

以上